

# ■ 令和 6 年度 銀の鈴幼稚園 自己評価報告書

(1)評価実施日 令和7年3月13日(木) 自己評価 調査書回収後集計

(2)実施対象 銀の鈴幼稚園本務教諭7名 回答数7名 回収率100%

(3)実施方法 自己評価項目の設問に4段階で答える。

※1十分にできた 2.できた 3あまりできなかった 4できなかった

(4)結果集計による評価

各項目を集計し、比率を公表する。75%以上を評価上「良好」とする。

以上の結果を、3月19日(水)、年度末会議において下記の回答分析を共有し、後日行われる学校関係者評価とともに、ひとり一人の教育保育に携わる課題を認識し、教育活動の充実と質向上へとつなげていくことを目的とする。

(5)教育目標

「みほとけさまを中心につよく、あかるく、げんきにのびる」

日々の教育は幼稚園教育要領で目指す「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」という幼児教育のバランスをもとに幼児教育の原理、科学、技法、心理的働きかけ等を、日々の具体的な教育案に反映する。

その教育案を具体的な週案日案として計画しながら、願われる子ども像に近づけるよう、指導支援を行う。またご家庭への理解と協力をお願いし、保護者の皆様の幼稚園生活や行事への参加を呼びかけ、幼稚園一子ども一家庭の「つながり」を大切に保育教育に取り組むこととする。

【重点項目】

1. その子にふさわしい発達を身につけ、自己肯定感をはぐくむ。

安心感を前提に、他者と協力して毎日を楽しみながら喜怒哀楽をたくさん経験し、その子どもにふさわしい、その子ども独自の発達を受け入れ、尊重して、遊びや成長を支援する。

2. 生活の中で支え合い、協力しあうことで、社会性、協調性をもつ。

生活習慣を身につけること、十分に自己発揮できるあそびに没頭すること、一定のルールの中で協調したりがまんしたりすることを重ね、緊張や自律と穏やかな気分の繰返しの中で、先生、お友達との関係を知り社会性 を身につける。

3. 自分の心やイメージを感じ取り、情操と感謝をもてる子ども

銀の鈴幼稚園では、仏教の教えを背景とした幼児教育を行う。

《生命尊重》「皆かけがえのない一人ひとりであることを自覚する」

《報恩感謝》「自分への恵みに感謝してその恵みに応えていく。」《和合精進》「人はつながりの中で生きる・思いやる・認め合う・ささえあう」という仏教の教えをもとにした幼稚園生活を営み、目に見えない自分の内面と出会い、命のつながり、時間や空間の不思議さ、敬虔さを抱くきっかけをつくる。また様々な場面で感謝の気持ちをもって過ごしていく。

## 総合自己評価結果 94.4P

令和7年度は新入園児が募集定員の51.%まで大きく園児数が減少した。地域の就園幼児の減少、共働き増加による保育所利用へのシフト、近年の株式会社によるインターナショナル型施設の増など、様々な原因が考えられる。より少子化が進むであろう状況の中で、持続可能な園運営を引き続き模索しなければならない。

教育活動については、ほぼ1, 2の肯定的回答が多くおおむね良好である。これからも連絡、報告、相談を密にして教育案をもとに実施をしていく。

しかし課題としては効率的な働き方や、労働時間などの意識を一層高めていく必要がある。

また人手に余裕がなく、最小限に近い状況となっている状況の中で、保育補助の在り方も検討しているが、研修の時間等が取りにくいことは、保育者の学びや振り返りを伴う、質向上への取り組みが課題となっている。

これらの課題を乗り越えるためにも、チームとしての方向性が今一度認識されなければならないと考える。

また特別支援や、不適切保育防止の意識も高めていかねばならない。

保育者の人間性が子どもに大きく影響することを踏まえ、質向上と子育て支援による運営の改善が必要となる。

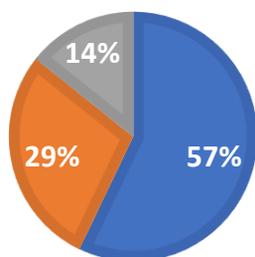
## 令和6年度 銀の鈴幼稚園教職員 自己評価設問

- ① 園の教育目標や方針、仏教保育の意味を理解し保育の中に取り入れようとしたか
- ② 幼稚園教育要領を理解し、子どもの主体性をを導く様な働きかけをすることができましたか
- ③ 子どもの動き、子どもの興味や関心を考慮し、天気など様々な場面をイメージして指導計画を立案することはできましたか。
- ④ 前例ばかりに依拠することなく、時代に合った新しい保育の方向を取り入れていますか。
- ⑤ 子ども達・保護者にはいつも明るい態度で挨拶することはできましたか。
- ⑥ 自分の保育を振り返り、反省点や改善点を見付け次へ生かそうと努力していますか。
- ⑦ 仕事の分担や、勤務時間などを意識した働き方をしていますか。
- ⑧ 子どもの気持ちを考えて、一人ひとりに合った対応を心掛けられましたか
- ⑨ 子どもの喜び・悲しみ・不満感を共有共感してあげることは出来ましたか
- ⑩ 同じ年齢であっても個人差があることを理解し、子ども同士が繋がりがあえる様に関わることは出来 ましたか
- ⑪ 一人ひとりの発達を理解した上で見通しを持って課題を見付けてあげられましたか
- ⑫ 自然の事象など保育に取り入れ、活かすことは出来ましたか
- ⑬ ケンカも育ちの場と考え、見守りや危険が認められた際の仲介など、その時の状況や子どもの状態に合わせ対応を変えることは出来ましたか
- ⑭ 結果よりも子どもがその出来事の課程を楽しんで、頑張ってきた姿を認められる様な保育をしてこられましたか
- ⑮ 子ども達や保護者に対して丁寧な言葉遣いで対応出来ましたか
- ⑯ 自分のクラスの子もだけでなく、様々な子どもの様子や情報を職員全体で共有し、見守ったり 関わったりする様にしていましたか
- ⑰ 子ども達の呼び方は適正でしたか
- ⑱ 子どもの間違いにも禁止語や命令語はなるべく避け、肯定的な物言いで悪いことを伝えるとともに子ども自身が考えられる様にしてあげられていましたか
- ⑲ 登園時には必ず視診を心掛け、保育中の子ども達の体調の変化(顔色・表情・食欲)に気づいたりする様に注意し、対応することは出来ましたか
- ⑳ 子どもの身体に虐待によるあざや傷がないか時々チェックしましたか
- ㉑ 不適切保育と呼ばれる内容について、意識し自分の見直しをしましたか。
- ㉒ 特別支援を必要とする子ども達の発達を考慮した上でその子どもに応じた配慮を心掛けましたか。
- ㉓ 教職員全員でひとつのチームであることを意識して仕事をすることが出来ましたか
- ㉔ 子どもを一人の人間として認め、子どもの権利や人権などを意識して接することができましたか。
- ㉕ 子どもに関する専門性を高めるための研修会やWSなどに積極的に参加されましたか
- ㉖ 衛生的な環境づくりや、感染症の拡大予防を行いましたか。
- ㉗ 固定遊具やその他の遊具の安全に留意し定期的に目視で点検するなど危険箇所がないか把握しましたか
- ㉘ 園の備品など大切に使うことは出来ましたか
- ㉙ 子どもの対応に困った時、関わり方や解決方法を教職員間で話し合うことは出来ましたか
- ㉚ 保育のプログラムの臨機応変な変更なども教職員間で話し合い、実施できましたか
- ㉛ 行事を行う際、教職員間で十分に話し合い、共通理解をはかれましたか
- ㉜ 教職員会議の場で自分の考えを発言することはできましたか
- ㉝ 保護者からの質問や相談に適切に応えられましたか。一人で判断出来ない事に対しては職員間で話し合っ て伝える様にしていましたか
- ㉞ 個人情報の取り扱いを十分に理解し、取り扱っていましたか。又保護者のプライバシーや情報、噂話などむやみに口外することはありませんでしたか
- ㉟ 子どもがケガをした時などその状況と処置を保護者にわかりやすく伝えられましたか。 又、その後の様子を尋ねたり、園での様子も保護者に伝える等、必要な事後処置をしましたか。
- ㊱ 保護者からのクレームや、適正な要望事項に対処して対応し、チーム共有できましたか。
- ㊲ 保護者との距離感を保ち、公私混同せずに関われましたか
- ㊳ 保護者の批判や中傷をしないように心がけていましたか。
- ㊴ 実習生、新入教諭など、相手を配慮する関わりや指導などができましたか。
- ㊵ 地域の繋がりがも大切であることを認識し積極的に挨拶や交流の機会を持ってましたか

# 令和6年度銀の鈴幼稚園教職員自己評価集計

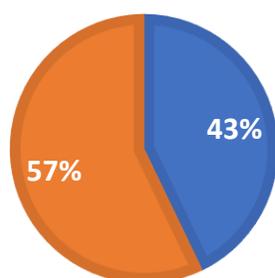
①園の教育目標や方針、仏教保育の意味を理解し保育の中に取り入れようとしたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



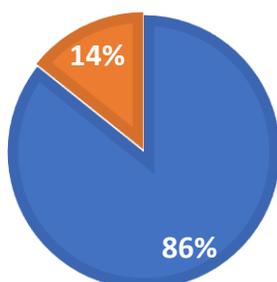
③子どもの動き、子どもの興味や関心を考慮し、天気など様々な場面をイメージして指導計画を立案することはできましたか。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



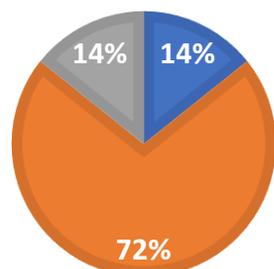
⑤子ども達・保護者にはいつも明るい態度で挨拶することはできましたか。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



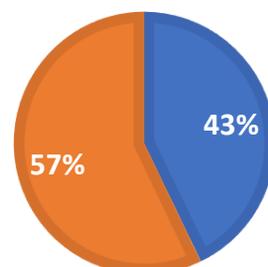
⑦仕事の分担や、勤務時間などを意識した働き方をしていますか。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



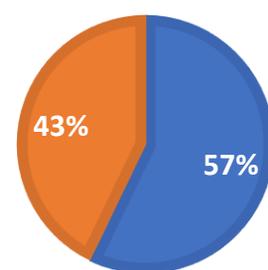
②幼稚園教育要領を理解し、子どもの主体性を導く様な働きかけをすることができましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



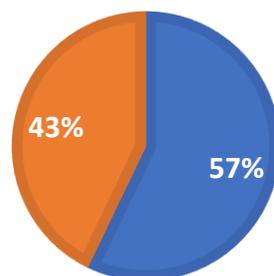
④前例ばかりに依拠することなく、時代に合った新しい保育の方向を取り入れていますか。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



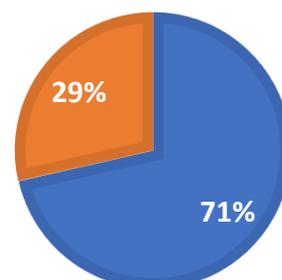
⑥自分の保育を振り返り、反省点や改善点を見付け次へ生かそうと努力していますか。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



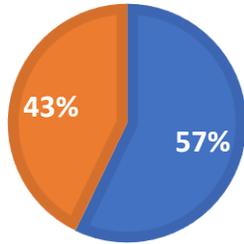
⑧子どもの気持ちを考えて、一人ひとりに合った対応を心掛けられましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



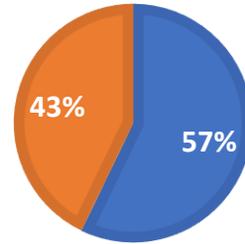
子どもの喜び・悲しみ・不満感を共有共感してあげることが出来ましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



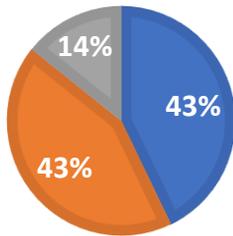
⑩同じ年齢であっても個人差があることを理解し、子ども同士が繋がりがえる様に関わることが出来ましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



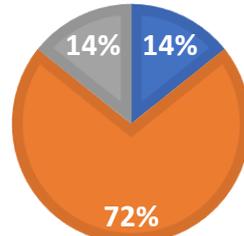
⑪一人ひとりの発達を理解した上で見通しを持って課題を見付けてあげられましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



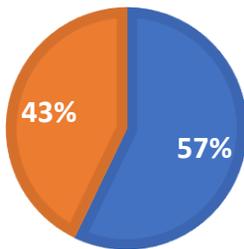
⑫自然の事象など保育に取り入れ、活かすことは出来ましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



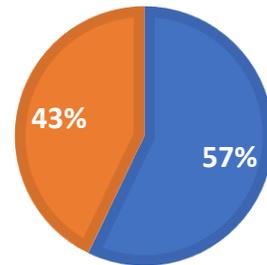
⑬ケンカも育ちの場と考え、見守りや危険が認められた際の仲介など、その時の状況や子どもの状態に合わせ対応を変えることは出来ましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



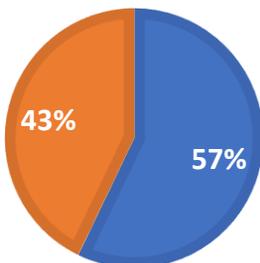
⑭結果よりも子どもがその出来事の課程を楽しんで、頑張ってきた姿を認められる様な保育をしてこられましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



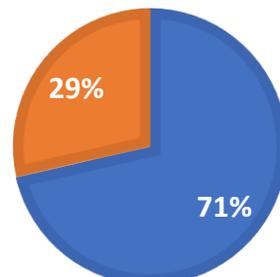
⑮子ども達や保護者に対して丁寧な言葉遣いで対応出来ましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



⑯自分のクラスの子もだけでなく、様々な子どもの様子や情報を職員全体で共有し、見守ったり関わったりする様にしていましたか

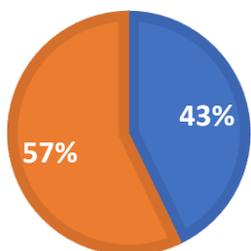
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



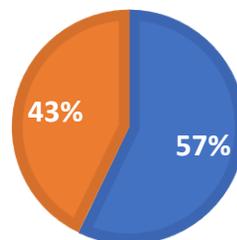
⑱子どもの間違いにも禁止語や命令語はなるべく避け、肯定的な物言いで悪いことを伝えるとともに子ども自身が考えられる様にしてあげられていましたか

⑰子ども達の呼び方は適正でしたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



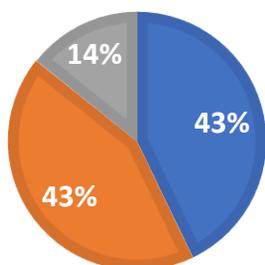
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



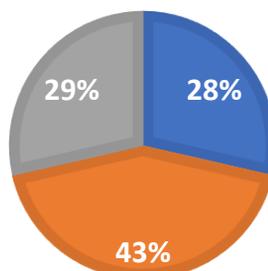
⑲登園時には必ず視診を心掛け、保育中の子ども達の体調の変化（顔色・表情・食欲）に気づいたりする様に注意し、対応することは出来ましたか

⑳子どもの身体に虐待によるあざや傷がないか時々チェックしましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



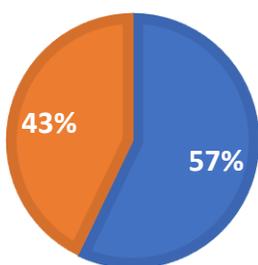
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



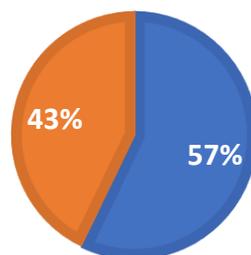
㉑不適切保育と呼ばれる内容について、意識し自分の見直しをしましたか。

㉒特別支援を必要とする子ども達の発達を考慮した上でその子どもに応じた配慮を心掛けましたか。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



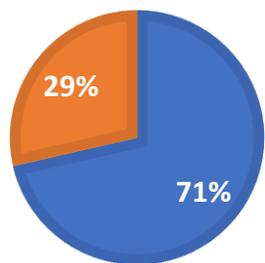
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



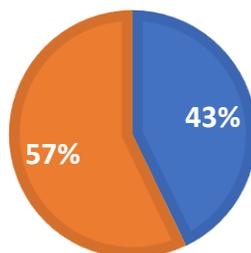
㉓教職員全員でひとつのチームであることを意識して仕事をする事が出来ましたか

㉔子どもを一人の人間として認め、子どもの権利や人権などを意識して接することができましたか。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

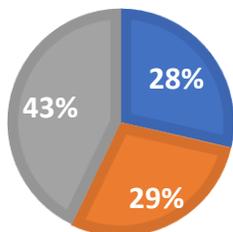


■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



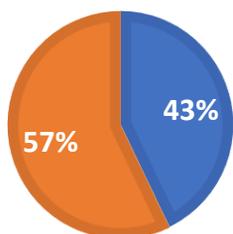
⑫子どもに関する専門性を高めるための研修会やWSなどに積極的に参加されましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



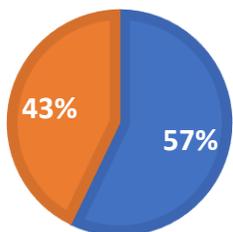
⑬固定遊具やその他の遊具の安全に留意し、定期的に目視で点検するなど危険箇所がないか把握しましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



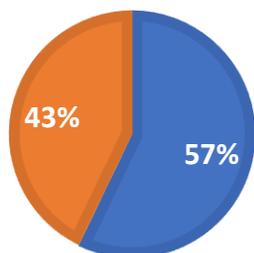
⑭子どもの対応に困った時、関わり方や解決方法を教職員間で話し合うことは出来ましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



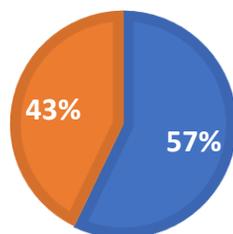
⑮行事を行う際、教職員間で十分に話し合い、共通理解をはかれましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



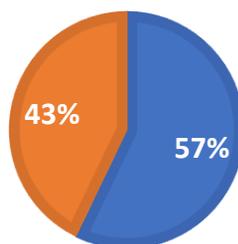
⑯衛生的な環境づくりや、感染症の拡大予防を行いましたか。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



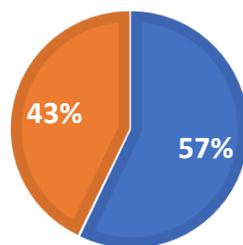
⑰園の備品など大切に使うことは出来ましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



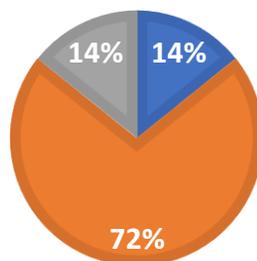
⑱保育のプログラムの臨機応変な変更なども教職員間で話し合い、実施できましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



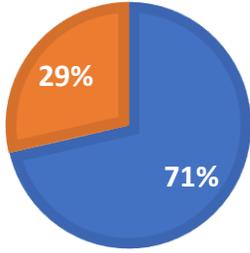
⑳教職員会議の場で自分の考えを発言することはできましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



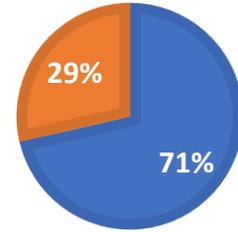
③保護者からの質問や相談に適切に応えられましたか。一人で判断出来ない事に対しては職員間で話し合っ伝える様にしていましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



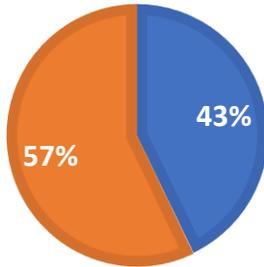
③個人情報の取り扱いを十分に理解し、取り扱っていましたか。又、保護者のプライバシーや情報、噂話などむやみに口外することはありませんでしたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



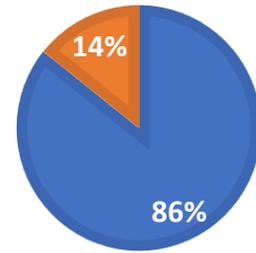
③子どもがケガをした時などその状況と処置を保護者にわかりやすく伝えられましたか。又、その後の様子を尋ねたり、園での様子も保護者に伝える等、必要な事後処置をしましたか。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



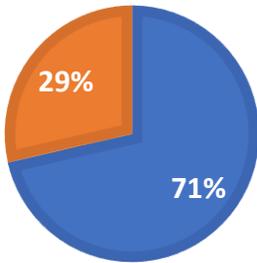
③保護者からのクレームや、適正な要望事項に對して対応し、チーム共有できましたか。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



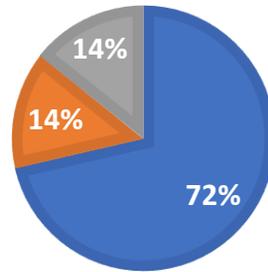
③保護者との距離感を保ち、公私混同せずに関わりましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



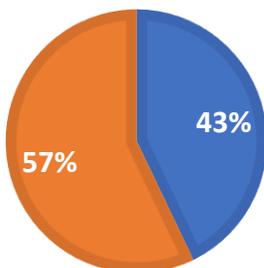
③保護者の批判や中傷をしないように心がけていましたか。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



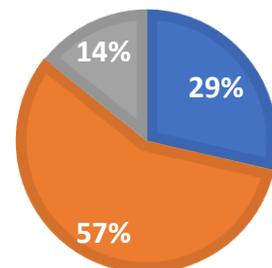
③実習生、新入教諭など、相手を配慮する関わりや指導などができましたか。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



③地域の繋がりも大切であることを認識し積極的に挨拶や交流の機会を持てましたか

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



# ■令和6年度 銀の鈴幼稚園 関係者評価報告書

(1)評価実施日 令和7年3月24日(月)～3月28日(金) 関係者アンケート回収

(2)実施対象 令和6年度在籍児保護者29名・学校評議員5名 回答者29名 回収率85%  
令和7年4月4日(金)園長・学園評議員・保護者 6名により評価委員会開催

(3)実施方法 「幼稚園における学校評価ガイドライン」をもとに重点項目・設問等を設定  
評価項目の設問に5段階で答えた関係者評価アンケートをもとに実施。  
1 すごく思う 2 思う 3 どちらともいえない 4 思わない 5 わからない

(4)結果集計による評価 ※教育目標、重点課題については自己評価報告書参照。  
各項目を集計し、比率を公表する。75%以上を評価上「良好」とする。  
以上の結果を、4月4日(金)評価委員会において自己評価結果と共有し、銀の鈴幼稚園の  
教育保育に携わる課題を認識し、銀の鈴幼稚園教職員、理事評議員、園ウェブサイトにお  
いて共有する。それをもって教育活動の充実と質向上へとつなげていくことを目的とする。

(5)設問並びに回答の比率

## 1.教育内容について

- |   |  |          |
|---|--|----------|
| ① | 教育内容や教育課程、教育案などの編成は適切である。              | 1+2 79P  |
| ② | 子ども達の「やりたい」を尊重し、子どもの主体性を導く働きかけをしている。   | 1+2 62 P |
| ③ | 教育、保育を通して、子どもの自己肯定感や意欲、協調性、社会性が高まっている。 | 1+2 72 P |
| ④ | 教育、保育を通して、その子どもの姿や年齢なりの発達や成長を身につけている。  | 1+2 79 P |
| ⑤ | 在籍時の教育、保育を通して、子どもに感謝の気持ちや情操、感性が育まれている。 | 1+2 76 P |
| ⑥ | 子どもにとって保育日数、保育時間は適切である。                | 1+2 80 P |
| ⑦ | 子どもにとって施設設備、遊具、教材等は適切である。              | 1+2 73 P |
| ⑧ | 子どもにとって行事の時期や回数、内容は充実している。             | 1+2 76 P |
| ⑨ | 友達との関係性や、広がりを築くことができている。               | 1+2 76 P |
| ⑩ | 次年度学年、小学校進学などへの接続は無理なく円滑である。           | 1+2 79 P |

## 2.教職員について

- |   |   |          |
|---|---|----------|
| ① | 教職員の言葉遣いは適切である。                                 | 1+2 79P  |
| ② | 子ども達への言葉かけは禁止語、命令語などの言葉かけではなく子どもに配慮されたものとなっている。 | 1+2 62 P |
| ③ | 子どもの気持ちを理解し、子どもの喜びや意欲、悲しさや不満感等に共感している。          | 1+2 69P  |
| ④ | 発達に課題のある子どもへ、支援意識がある。                           | 1+2 76 P |
| ⑤ | はきはきと明るい態度や笑顔で子ども達や保護者に接している。                   | 1+2 76 P |
| ⑥ | 子ども同士のケンカやトラブルに公平感を持って対応している。                   | 1+2 66 P |
| ⑦ | 安全意識、衛生意識をもって教育、保育に取り組んでいる。                     | 1+2 72 P |
| ⑧ | 教職員全体がチームとしてまとまって保育や教育、行事に取り組んでいる。              | 1+2 73P  |
| ⑨ | 保護者から相談を受けやすい態勢をとっている。                          | 1+2 76P  |
| ⑩ | 保護者からの質問や相談に適切に対応している。                          | 1+2 73P  |
| ⑪ | 保護者に子ども達の様子をよく伝えている。                            | 1+2 76P  |
| ⑫ | 保護者からのクレームに対して適切に対応している。                        | 1+2 73 P |

## 3.その他の事項

- |   |  |          |
|---|--|----------|
| ① | 通知、メール配信、ホームページ、アプリ、SNSなどで幼稚園の様子が伝わっている。 | 1+2 69P  |
| ② | 安全(防災防犯)意識、衛生意識をもって運営されている。              | 1+2 73P  |
| ③ | 個人情報管理や守秘義務管理は適切に行われている。                 | 1+2 73P  |
| ④ | 不測の事態の際に情報配信などの対応は適切である。                 | 1+2 76P  |
| ⑤ | 預かり保育など子育て支援の態勢は適切である。                   | 1+2 80P  |
| ⑥ | 地域とのつながりを大切にしている。                        | 1+2 62 P |

(6)評価分析・改善等

総合評価は肯定的回答1+2の平均は75Pを下回った。

回答3の「どちらともいえない」回答5「わからない」の数値を斟酌すればおおむね良好といえるのではないかと。しかし

\*子ども達の「やりたい」を尊重し、子どもの主体性を導く働きかけをしている。

\*禁止語、命令語による言葉かけ

\*子ども同士のケンカやトラブルに公平感を持って対応

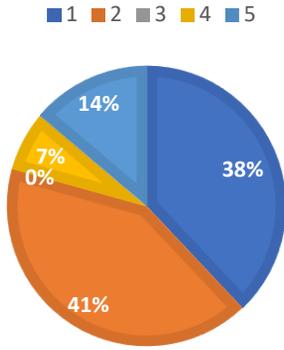
\*地域とのつながり についての評価が60P弱の評価についてはその対応を改善する必要がある。

特に子どもの意欲から引き出される、主体的な遊びの環境作りが課題である。また遊びの中での保育者の対応は、子ども達の対話能力育成や、保育者のスキルの重要な部分であるので、振り返りや改善が必要である。

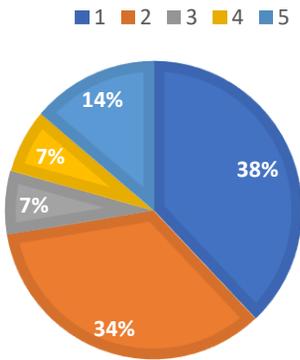
「言葉かけ」への評価とも関連し、不適切対応のガイドラインも含めてかかわり方についての分析も必要である。

# 教育内容について

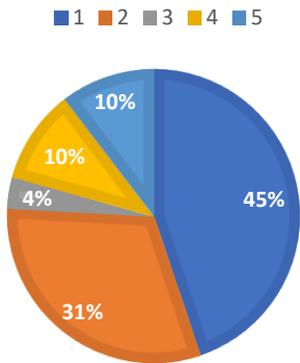
①教育内容や教育課程、教育案などの編成は適切である



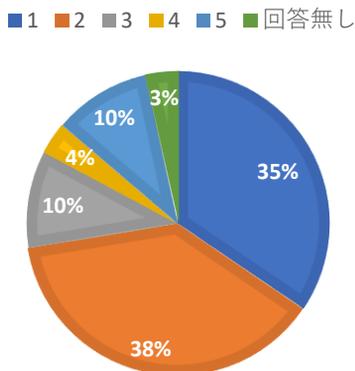
③教育、保育を通して、子どもの自己肯定感や意欲、協調性、社会性が高まっている



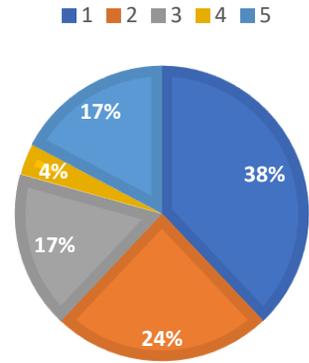
⑤在籍時の教育、保育を通して、子どもに感謝の気持ちや情操、感性が育まれている



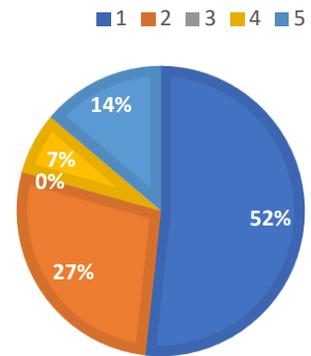
⑦子どもにとって施設設備、遊具、教材等は適切である



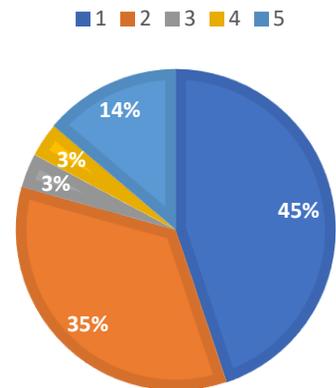
②子どもたちの「やりたい」を尊重し、子どもの主体性を導く働きかけをしている



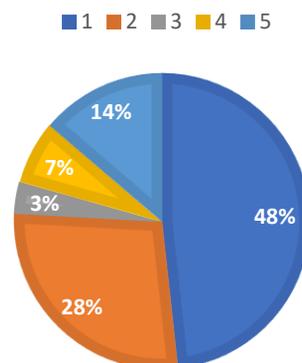
④教育、保育を通して、子どもの姿や年齢なりの発達や成長を身につけている



⑥子どもにとって保育日数、保育時間は適切である

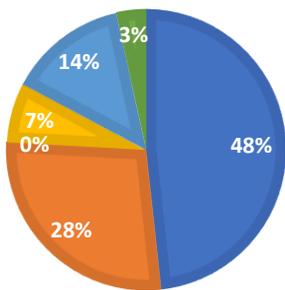


⑧子どもにとって行事の時期や回数、内容は充実している



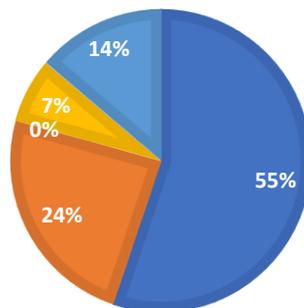
⑨ 友達との関係性や、広がり築くことができている

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 回答無し



⑩ 次年度学年への接続は無理なく円滑である

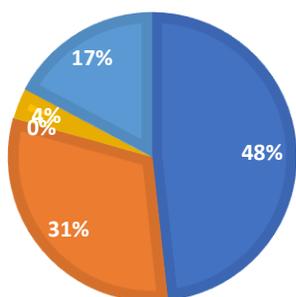
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



## 教職員について

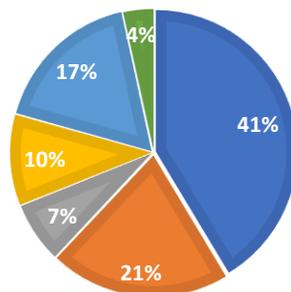
① 教職員の言葉遣いは適切である

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



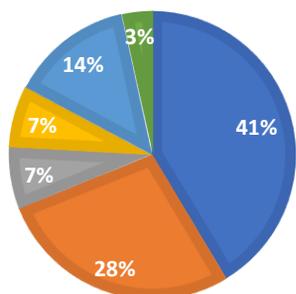
② 子ども達への言葉かけは、禁止語、命令語などの言葉かけではなく子どもに配慮されたものとなっている

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 回答無し



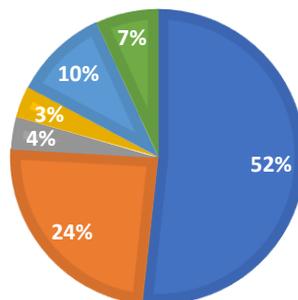
③ 子どもの気持ちを理解し、子どもの喜びや意欲、悲しさや不満感等に共感している

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 回答無し



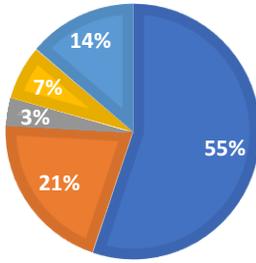
④ 発達に課題のある子どもへ、支援意識がある

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 回答無し



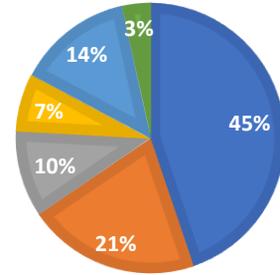
⑤ はきはきと明るい態度や笑顔で子どもや保護者に接している

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



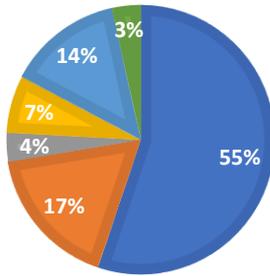
⑥ 子ども同士のケンカやトラブルに公平感を持って対応している

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 回答無し



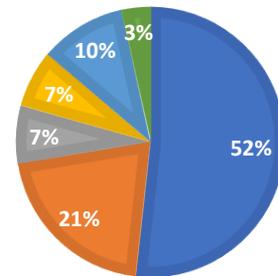
⑦ 安全意識、衛生意識をもって教育、保育に取り組んでいる

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 回答無し



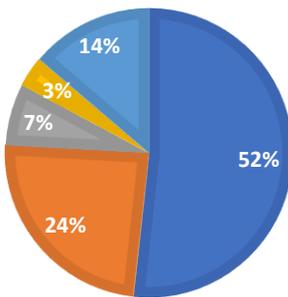
⑧ 教職員全体がチームとしてまとまって保育や教育、行事に取り組んでいる

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 回答無し



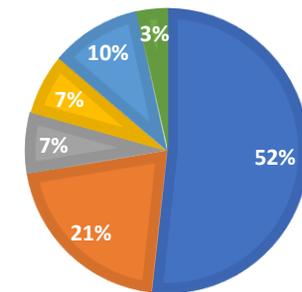
⑨ 保護者から相談を受けやすい態勢をとっている

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



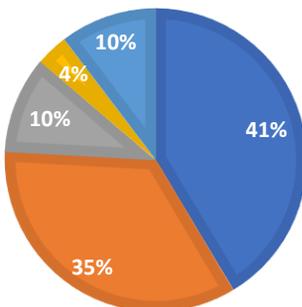
⑩ 保護者からの質問や相談に適切に対応している

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 回答無し



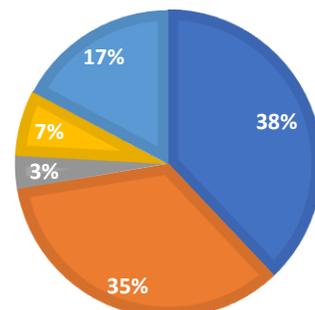
⑪ 保護者に子ども達の様子をよく伝えている

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5



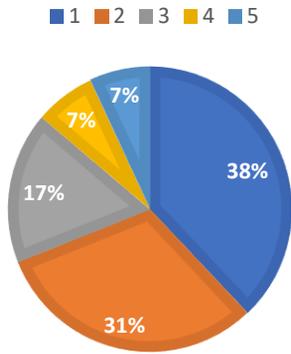
⑫ 保護者からのクレームに対して適切に対応している

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5

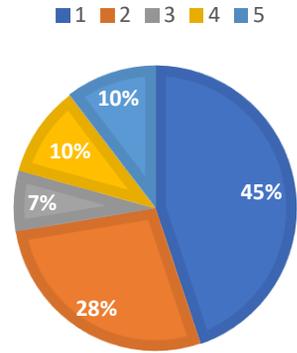


# その他の事項について

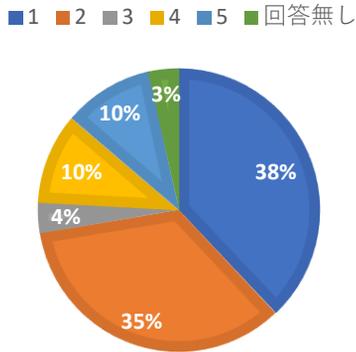
①通知、メール配信、ホームページ、アプリ、SNSなどで幼稚園の様子が伝わっている



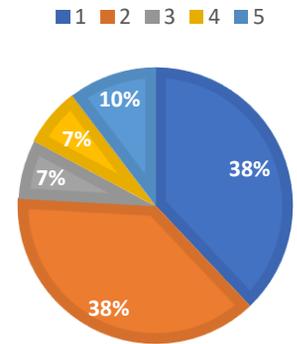
②安全(防災防犯)意識、衛生意識をもって運営されている



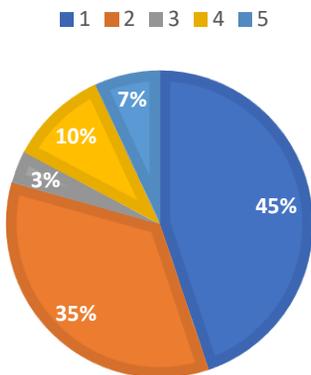
③個人情報管理や守秘義務管理は適切に行われている



④不測の事態の際に情報配信などの対応は適切である



⑤預かり保育など子育て支援の態勢は適切である



⑥地域とのつながりを大切にしている

